# (3) 成績評定考査基準(土木等)

### 1. 通 則

評定は、正確な資料及び監督職員の業務又は検査職員により確認した事実に基づき、業務の条件等を 勘案の上、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

#### 2. 適用対象業務

- ○地質調査業務
- ○単純調査等業務 (別掲)
- ○測量業務
- ○調査業務及び計画業務
- ○設計業務

### 3. 適用対象外の業務

- ○現場技術業務
- ○河川・道路関係等の巡視業務
- ○機械等点検保守業務
- ○清掃等の維持管理的な作業業務
- ○その他評定の対象となる成果品がない業務
- ○公益法人と随意契約した業務

#### 4. 評価項目

評定は、次に掲げる評価項目について行うものとする。

評	価	項	1
	提案力	、改善力	
   専門技術力	業務執	行技術力	
<del>守[]][文[]]</del>	施工時	への配慮	(注)
	コスト	把握能力	(注)
	工程管	理能力	
管理技術力	品質管	理能力	
	迅速性	、弾力性、	調整能力
コミュニケーション力	説明力	、プレゼン	/テーション力、協調性
取組姿勢	責任感	、積極性、	倫理観
成果品の品質			
事故等による減点			·

注)「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

### 5. 評定方法

① 評定については、採点表(別紙2)の各評価項目について、「評価の視点」の各項目に従って評価を行い、業務委託成績評定表(土木等)(別紙1)を作成するものとする。

- ② 業務委託の総合評定点は、次により算出するものとする。
  - (1) 検査が業務完了検査のみの場合 総合評定点 = (監督職員の評定点) × 0.6 + (検査職員の評定点) × 0.4 + (事故等による減点)
  - (2) 検査が業務完了検査のほかに部分検査及び中間検査(以下「部分検査等」という。)がある場合

総合評定点 = (監督職員の評定点)  $\times$  0.6 + (検査職員(部分検査等)の評定点)  $\times$  0.2 + (検査職員(完了検査)の評定点)  $\times$  0.2 + (事故等による減点)

この場合、各評価項目ごとの評定点及び総合評定点の算出に当たっては、小数第1位を四捨 五入するものとする。

③ 前項第2号の総合評定点の算出において、部分検査等が2回以上ある場合の検査職員(部分検査等)の評定点は、それぞれの部分検査等における評定点を平均した値とする。 この場合、平均値の算出に当たっては小数第1位を四捨五入するものとする。

### 6. 考查基準

(1)「評価の視点」ごとに複数の評価細目を設け、チェック数により得点率が定まる5段階評価の仕組みにより評定を行う。

加減点評価項目 加点評価項目 ( チェック項目数=4 ) ( チェック項目数=2 ) チェック数 チェック数 得点率 得点率 ()0.2 0.4 1 2 0.6 0 0.6 3 0.8 0.8 1 2 4 1.0 1.0

表一1 チェック数と得点率

※ 加減点評価項目においては、4つの評価細目のうち、2つを「通常に業務を実施すれば、比較的容易にチェックされる項目」、残り2つを「チェックされる為には、相応の努力が、必要な項目」とする。すなわち、通常に業務を実施すれば60点は確保できる。

#### (2) 評価の視点の重み付け

評価項目ごとに合計100点となるよう、各「評価の視点」に配点し、「評価の項目」に占める「評価の視点」の重みを考慮できるようにする。

表-2 「評価の視点」の重み付け(ex. 「提案力、改善力」)

評価項目	評 価 の 視 点	配点
	業務特性等の考慮	20点
提案力、改善力	業務遂行段階における提案	40点
(近条/J、以普/J	新たな検討課題の提案	20点
	業務内容等改善の提案	20点
小	計	100点

## (3) 評価項目と評定者の関係

評価項目と評定者の関係は表一3の通りとし、それぞれの採点表により評定する。

表-3 評価項目と評定者の関係

	評価	「項目	補助監督 職員	監督職員 (総括)	検査 職員
		提案力・改善力	0	_	_
		業務遂行技術力	0	0	0
プロロ	専門技術力	施工時への配慮 (設計業務のみ)	0	1	_
Ц		コスト把握能力	0	_	_
セ		工程管理能力	0	_	_
ス	管理技術力	品質管理能力	0	_	_
評		迅速性、弾力性、 調整能力	0		_
価	コミュニケ ーション力	説明力、 プレゼンテーョン力、 協調性	0		0
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	$\circ$	0	_
結果 評価	j.	成果品の品質	0	_	0

## 7. 監督職員の考査基準

## ① 監督職員のうち、補助監督職員の考査基準

評価に当たっては、当該業務の履行状況に応じ、採点表の各評価項目について、「評価の視点」の加減

点要素により、それぞれの範囲で評価するものとする。

- ② 監督職員のうち、監督職員(総括)の考査基準
  - (1) 監督職員の総括として、直接関与した業務に限定することなく、全ての評定に関与するものとする。
  - (2) 評価項目としては「業務遂行技術力」「責任感・積極性・倫理観」に限定して評価するものとする。
  - (3) 評価方法は、評価細目をチェックすることで評定可能とする。但し、チェック項目はあくまでも評定の目安であり、該当数に依らず総合的に評定するものとする。
  - (4) チェック項目には「その他」を設け、理由を付した上で評価可能とする。
  - (5) 評定点は「20点・40点・60点(基準点)・80点・100点」とし、基準点に対して、加点・減点の双方が可能とする。

#### 8. 検査職員の考査基準

評価に当たっては、当該業務の履行状況に応じ、検査職員の採点表の各評価項目について、「評価の 視点」の加減点要素により、それぞれの範囲で評価するものとする。

#### 9.「単純調査等業務」について

「調査業務、計画業務」は、広範かつ高度な専門的知識が要求される業務や高度な技術と豊かな経験が要求される業務といった比較的難易度の高い調査業務に対応するものであるため、これについては「調査業務、計画業務」採点表を使用するものとする。しかしながら、これらの業務の中には、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等も含まれることから、これらを「単純調査等業務」と定義し、「測量業務、地質調査、単純調査等業務」採点表を用いて評定するものとする。

なお、「単純調査等業務」の主な対象業務については、以下に示すものとする。

「単純調査等業務」

• 各部門共通 単純なデータ収集整理業務

単純なデータ処理業務

書類編集的な業務

文献収集業務

・河川、砂防及び海岸 水理・水文観測業務

データ加工業務 (降雨解析等)

不等流計算等の計算業務(システム開発を除く)

補償数量の算出

工事記録等資料の分類·整理 工事図面集、写真集等の作成

・ 道路 一般的な現地踏査

一般的な交通量観測業務

台帳整理等を目的とした資料収集業務

・トンネル クラック等変状の計測調査

・施工計画及び施工設備 施工関連資料の収集整理

情報 定期的なデータメンテナンス

資料収集的な業務 単純なデータ作成のみの業務

資料収集的な業務

• 防災

大気汚染、水質汚濁、騒音、土壌汚染、振動等調査・分析方法が JIS等で規定されている測定業務

## 10. 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて各評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

表一4 評定の重み付け

• 環境

表─4	正の里み付り		,	
H H	業務の種類	測量業務、地質調査 単純調査等業務	調査業務、計画業務	設計業務
評価写	頁目	項目別軽重率	項目別軽重率	項目別軽重率
	提案力、改 善力	2 (10%)	2 (10%)	2 (8%)
専門技術	業務執行技 術力	4 (19%)	4 (19%)	4 (17%)
力	施工時への配慮		_	1 (4%)
	コスト把握能力		_	1 (4%)
	工程管理能力	2 (10%)	2 (10%)	2 (8%)
管理技術力	品質管理能 力	2 (10%)	2 (10%)	2 (8%)
	迅速性、弾力性 調整能力	1 (5%)	1 (5%)	1 (4%)
コミュニケーション力	説明力、協 調性 プレゼンテーショ ン力	1 (5%)	1 (5%)	1 (4%)
取組姿勢	責任感、積極性 倫理観	2 (10%)	2 (10%)	2 (8%)
成果。	品の品質	7 (33%)	7 (33%)	8 (33%)
合	計	21 (100%)	21 (100%)	24 (100%)

	業務委託成績評定表(土木等)														
	担当:	<del>,</del>		部	担当				平成	F 月 日					
	業務名称						T								
	契約金額	頁	当初:				最終:								
	履行期間	1	当初:	平成	年 月 日~平成	年 月 日	最終: 平成	年 月	日~ 平成 年	月 日					
T NI A	契約相手	方	名称:				所在地:								
	完了年	≒月日		平成	年 月 日		完了検査年月日	年 月 日							
	管理技術	行者氏	:名				担当技術(業務従事)者氏名①								
	照查技術	行者氏	:名				担当技術(業務従事)者日	<b>氏名②</b>							
	主任技術	行者氏	:名				担当技術(業務従事)者日	<b>长名</b> ③							
	現場代理	I 人氏	:名												
臣	监督職員所		氏名				補助監督職員所属・	氏名							
柞	食査職員別	沂属•.	氏名					<b>'</b>							
		評	Ž	価	項目	補助監督職員	監督職員	検査職員	業務評定 (注1)						
				提	秦力、改善力		_	_							
	専			業務	务執行技術力										
	門技術	施	工時への配慮 概略設計、予備設計				_	_							
ĵ	力	7.2	(注2	2)	詳細設計		_	_							
プロセ				コスト	把握能力(注2)		_	_							
ス評価	管			エ	程管理能力		_	_							
価	理技			品	質管理能力		_	_							
	技術力			迅速性、	弾力性、調整能力		_	_							
	シニコ カョケミ ンーュ		説明	カ、プレセ	ジンテーション力、協調性		_								
	取組 姿勢			責任感	、積極性、倫理観			_							
			,	成果品の	)品質		_								
1	小計(評別	定点の	つ加重平	区均点)(沒	主3)	_	_	_	_						
2	業務執行	产上に	係る過失	失に伴う洞	<b>或点</b>	_		_	_						
3	事故等に	よる海	載点			_	_	_	_						
4	瑕疵修補	文は	損害賠	償によるシ	載点	_	_	_	_						
(5)	その他(				)	_	_	_	_						
6	総合評定	点=	1+2+	3+4+5	)	_	_	_	_						
					補助監督職員		監督職員		検査職員						
	所見														

注1) 各評価項目の評定点は、小数第二位を四捨五入して表示している。

注2) 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は設計業務のみ評定の対象とする。

注3) 小計(評定点の加重平均点)は小数第一位を四捨五入し、整数とする。

(1)	地質	調査・単純調金	全等業務・測量業	<b>ミ務</b>	①L補助	監督排	<b></b>	IJ	委託?	<b>占</b> 杯:	(	1/4)
	评(	<b>価項目</b>	評価の視点■	2点	得 優	点標準	率	劣	得点		評	
					1.0 0.8	0.6	0.4	0.2			当該作業(業務)の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がな	され
			業務着手段階 における業務 特性等の考慮		評価細目 <del>5</del> ″=1⇒「(						た。 当該作業(業務)の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調析の手法・技術に関する提案がなされた。注1)	査∙解
					 チェック	 7数						
					, _,,		!				作業(業務)遂行段階で新たな視点から提案がなされた。	
			業務遂行段階における提案		評価細目 <del>5</del> ″=1⇒「(						関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベ づく提案がなされた。注1)	ルに基
					チェック	7数	 					
		提案力改善力	業務 遂行 上 る 課題 の 提案		評価細目ラ 〃=1⇒「(						当該作業(業務)で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。	
					·	- W.L						
					チェック	/剱	<u> </u>				作業(業務)の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。	
			業務内容等改善の提案		評価細目 <del>5</del> ″=1⇒「(						作業(業務)の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた	0
					チェック	 7数						
			小 計				•	1				
											業務(調査)計画書に必要事項が記載されていた。注2)	
プ	専		目的と内容		評価細目ラ ″=1⇒「(	0.4] 、//	<i>'</i> =2⇒	_ [6.07			当該作業(業務)の目的、内容が理解されていた。 業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述	があっ
セ	門技		の 理 解		" =3⇒Γ(		<i>ı</i> =4⇒	Г1.0」			た。注2) 特記仕様書等に示された当該作業(業務)と関連する他の作業(美事業が理解されていた。	
アンドラ	術				チェック	7数	<u> </u>				作業(業務)着手時点において、適切に資料等が整備された。	
価	カ				評価細目を	チェック勢	数=0⇒	ر 0.2			作業(業務)実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されてい	た。
			必要情報 の把握		" =1⇒[( " =3⇒[(						作業(業務)遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がないた。	ょされて
											作業(業務)遂行段階で、当該作業(業務)に有意な情報が自主的 された。	に提供
					チェック	7数	<u> </u>				ルッパッカン・ボロム 바ョフル どうか のっこう 図 きの ボロナ サロレイ	
					=T /T /T	1	w a	<b>-</b>			作業(業務)項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足して 採用された作業(業務)手法の技術的内容は、作業(業務)の目的	
			作業(業務)項目		評価細目ラ "=1⇒「( "=3⇒「(	0.4] 、//	<i>i</i> =2⇒	[6.07			合していた。 作業(業務)目的に照らし必要な作業(業務)項目が不足無く設定で	され、作
		業務執行	作業(業務)手法				·				業(業務)項目間の整合も図られていた。 提案された作業(業務)手法は、従来技術の応用・統合化あるいは 技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1)	比先進
					チェック	/剱	<u> </u>					
					評価細目ラ "=1⇒「(						打ち合わせ資料に、作業(業務)を進めるにあたっての課題等が過	適切に
			打ち合わせ		" =3⇒[(	0.8] , //	<i>ı</i> =4⇒	Γ1.0 <u>]</u>			盛り込まれていた。 打ち合わせ資料に、作業(業務)を進めるにあたっての課題解決策 案等が適切に盛り込まれていた。	を や 提
					 チェック						議事が適切に盛め込まれていた。 適用する諸基準類のない作業(業務)、若しくは難易度の高い作業 務)等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれた。	
					ノエツシ	- 50	<u>!</u>				作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書が十分に	 こ理解さ
			十分な		評価細目ラ 〃=1⇒「( 〃=3⇒「(	0.4] 、//	<i>i</i> =2⇒	[6.07			れていた。 特記仕様書に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な 技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配 ていたこともあわせて評価する)	
			技術力								作業(業務)遂行段階において、発生した課題や発注者から新たけされた事項について十分満足できる解決が図られていた。	こ指示
					 チェック	 7数					新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に十分対応できる を有していた。注1)	5能力
	1		<del></del>				•		<del></del>	-		

1

注1)考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(1)地質調査·単純調査等業務·測量業務 ①〔補助監督職員用〕 委託名称: (2/4)

					得 点	率			
Ē	平位	五項 目	評価の視点	配点	優標準	 劣	得点		評 価 細 目
					1.0 0.8 0.6	0.4 0.2			
									契約書等に記載された期限以内(ex.契約締結後14日以内)に業務工程表が提出され、速やかに作業(業務)着手がなされた。
					評価細目チェック数 "=1⇒「0.4」、"				業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映 されていた。
			実 施 手 順工程計 画		$"=3\Rightarrow \lceil 0.8 \rfloor \ ,"$				業務実施方針又は詳細な工程表には、作業(業務)実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。
									作業(調査)項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
					チェック数				
						1			契約図書に基づき、主任技術者通知書及び調査(業務)計画書が提出された。注1)
					評価細目チェック数	-			調査(業務)計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、作業(業務)が履行された。注1)
			実施体制						配置された担当技術者若しくは照査技術者は、作業(業務)内容に応じた 技術者が配置され、適正に履行された。
									調査(業務)計画書(業務組織計画)に示された実施体制は、本作業(業務)の履行に対して十分な体制であった。注1)
					チェック数	 			
		工程管理				<u>:</u>			打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。
プ		能力			==/T/m =	4 o . Fo o .			打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映し、打合せ後の進 め方や懸案事項等が的確に整理されていた。
п	管		打合せ内容の		評価細目チェック数 "=1⇒「0.4」、" "=3⇒「0.8」、"	=2⇒「0.6」			受注者内(再委託先等を含む)で意思疎通がなされ、指示や打合せ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。
セ	理技		理解、記録			_			打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された(打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行
ス	術								なうことはなかった。)
評	カ				チェック数				
価									指示や注意を行なう必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品 されない等はなかった。
					   評価細目チェック数   "=1⇒「0.4」、"				設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。
			工程管理		"=3⇒[0.8]、"	=4⇒[1.0]			関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。
									履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり 完了できた。
					 チェック数				JU1 C2/20
			小 計			1			
								$\vdash$	チェックリスト等の品質管理の記録により、品質の管理がされたことを確
									認できた。
		品質管理 能 力	ミス防止の実施		評価細目チェック数 "=1⇒「0.8」、"				品質管理のためのシステムが構成されている部署で作業(業務)が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
		RE /J							
					チェック数				
			小 計			<u>(1)</u>			

注1)測量作業においては、国土交通省公共測量作業規程第10条又は、第110条に基づく作業計画をいう。

(1)	地質	調食·甲純調	<b>企等</b> 業務 ・測量	美務	①【補助監督	<b></b>	安計?	<b>台</b> 杯:					(3/4)
					得 点	率							-
i	平位	西 項 目	評価の視点	配点	優 標準 1.0 0.8 0.6		得点		評	価	細	目	
			当 初 計 画 の 変 更		評価細目チェック: "=1⇒「0.8」、/				作業(業務)遂行 請、あるいは調査 その結果生じた	を職員の指示等(	に迅速に対応した	Ξ.	学の変更要
					 チェック数	   							
	管理技	迅速性弾力性	関連事業者間の調整		評価細目チェック: "=1⇒「0.8」、/				発注者からの指 間の調整に係わ 作成された資料(	る提案資料が作	成された。		関連事業者
	術	調整能力			 チェック数								
	カ		地元住民との合意形成		評価細目チェック: "=1⇒「0.8」、/				発注者からの指との合意形成(Pむ)に係わる提案 作成された資料(	∃滑な業務履行の ミ資料が作成され	D確保に資する地 ιた。	也元等への配	
					チェック数								
プ			小 計			1							
・ロセス			理解しやすい 説 明 プレゼン テーション		評価細目チェック: "=1⇒「0.4」、「 "=3⇒「0.8」、「	″=2⇒「0.6」			日時・場所・参加 図表等を用いる。 資料の内容が簡 資料の要約が作	ことにより、理解	しやすい資料とな 理解しやすい資料	っていた。 いとなっていた	÷= 0
評価			(資料)		 チェック数				X1107 X 11370 11	7,5,0,0,0,0,0,0		. 0 – 2 %	,,,,
Щ	п ш т		理解しやすい 説 明 プレ ゼョン テーシ 応 )		評価細目チェック: "=1⇒「0.4」、" "=3⇒「0.8」、"	″=2⇒[0.6]			打合せ開始時に 質問に対し的確が提示された。 一般論と当該作: 曖昧な表現がない きた。	な回答がなされた 業(業務)固有の	た、又は即答でき	ない場合には	t=.
	=	説明力			チェック数								
	ケーション	弱 協 調 ゼ ション ナ	説 明 を補う努力		評価細目チェック: "=1⇒「0.4」、" "=3⇒「0.8」、"	″=2⇒[0.6]			説明の際に、相 説明が不十分の 相手の理解度に 説明を補足するが	場合、他のメンバ応じ、説明のポー	バーにより補足説 イント・速さ等がコ	明がなされた	<i>t</i> =。
	」 カ				 チェック数	   							
	,		円滑な遂行への努力		評価細目チェック: "=1⇒「0.8」、/				密に作業(業務) 作業(業務)遂行 れた。				服告がなさ
					 チェック数								
			小 計			1							

(1)	地質	調査	•単	純調	<b>上等業</b>	務	• 測量	量業務	(1)[:	補助盟	监督耶	銭員用	)	委託名	名称:						(4/4)
	平 fi	五 〕	頁	目	評価	iの ŧ	視点	配点	優 1.0	得 0.8	点 標準 0.6	率 0.4	劣 0.2	得点		評		価	細	目	
プロセス評価	取組姿勢	責積倫	任極理	感性観	責積	任極	感性		" = " =	1⇒Г0.	4] 、" 8] 、"	数=0⇒  ・=2⇒「 ・=4⇒「	0.6」			主任技術者、「た。 打合せにおい作業(業務)遂 再確認されてし作業(業務)遂 沈迅速にな	て確認・ 行に誤り いた。 (行段階)	解決すべき <b>፤</b> りが無いよう、	事項について見 必要に応じ協	見逃しがなかっ 議事項・決定	った。 '事項等が
					1,	小 計	ŀ						1								
結 果 評	ស σ.			品質	目達的取り	的成確ま	度  な		# = # # # # # # # # # # # # # # # # # #	1⇒「0. 3⇒「0. エック: 細目チ 1⇒「0.	4」、" 8」、" 数 エック数 4」、"	数=0⇒  :=2⇒  :=4⇒  =4⇒  =2⇒  :=2⇒  :=4⇒	[0.6] [1.0] [0.2] [0.6]			設計図書(業等)に対対の高務 という	行段階、果は、作 マンスに でない。 では、 でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	での指示事項 業(業務)目 岐にわたる材 業務)成果が 項目、作業(業 などは、ほと 現になってお 作業(業務):	類が、漏れなく乳的に照らし満 会計項目など、 が得られた。注 (表別)遂行段階 (おど)認められる。 (おり、記載方法 送行段階での	実施された。 足できる内容の 難易度の高い 1) での指示事項ない。 に創意工夫が	い作業(業質を漏れない。) かいまい かいまい いいまい いいまい かいまい いいまい かいまい かいま
価					ミス	のす			評価: "= "=	1⇒Γ0.	エツク <b>数</b> 4」、" 8」、"	数=0⇒ =2⇒「 =4⇒「	0.6」			チェック方法に 成果品の品質 スも認められた 誤字・脱字、表 必要書類も整	に大きく なかった。 記等、転	影響しない( を微なミスも詞	簡易に修正で	きる)表記・計	算等のミ

注1)考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(1)地	質調	査・単純	調査等業務	•測量	業務	②[胃	監督職	餓員(紅	総括)]	委託名称	ī :	( 1/1
評	価	項目	評価の視点	配点	優 1.0	得 0.8	点 標準 0.6	喜 0.4	多 3 0.2	得点		評価細目
プロセス	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力		خ (	5評価細総合的「「0.4」、「10.8」、	に判断 「0.6」( 1.0」をイ	して、「( 基準点	0.2」 į)			当該作業(業務)の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 当該作業(業務)に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 当該作業(業務)に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 当該作業(業務)に対する打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 当該作業(業務)に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 その他(理由:
ス評価	取組姿勢	責 任 感 積 極 性 倫 理 観	責積 極 観		ة ر	5評価細総合的「「0.4」、「10.8]、「10.8」、「10.8]、	に判断 「0.6」( 1.0」をイ	して、「( 基準点	0.2」 i)			企業として積極的に技術の研鑚に取り組んでいる。 当該作業(業務)遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 作業(業務)遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、作業(業務)を完成させた。 その他(理由:
			小 計						2			
業務執行に係		業務執行」	上の過失			価細目 ラ ミ  	3点減点	点 	毎に			業務遂行上、指摘又は指導等を行なったが、改善されなかった。 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行なわれなかった。 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 業務実施体制に問題があった。 その他(理由: )
係る過失に伴う減点		守秘性に係			評 3点	-エツク 価細目 5 減点 ( 9	チェックチェック					業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任よるものと発注者が判断した。 その他(理由: )
	I	小星	Т	1	ı					I		

(1)地	質調	i査・単純調	查等業務ㆍ鴻	制量業	務 ③[検査職員]	委託名	i称:	( 1/1
評	価	項目	評価の視点	配点	得     点     率       優     標準     劣       1.0     0.8     0.6     0.4     0.2	得点		評 価 細 目
			作業(業務)項目 作業(業務)手法		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」  チェック数	_		作業(業務)項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された作業(業務)手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 た。 作業(業務)目的に照らし必要な作業(業務)項目が不足無く設定され、作業(業務項目間の整合も図られていた。 提案された作業(業務)手法は、従来技術の応用・統合化あるいは先進技術を活動するなど、難易度の高いものであった。注)
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	十 分 な 力		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」 チェック数 ■ 0			作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されてした。 特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術でを有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する) 作業(業務)遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事場について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
			小計		3	)		
	コミュニケーション	説 明 カ 協 調 性 フ <sup>°</sup> レセン テーション カ	説 明 力 協 pt フ・レションカ テーションカ		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」			質問に対し的確な回答がなされ、一般論と当該作業(業務)固有の議論が明確に区別されていた。 区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 説明当事者の説明が十分なされた。説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
	カ		小計		3	)		
			目 的 の達 成 度		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」  チェック数	-		設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。注)
結果評価	果 果 评 評	成果品質	的 確 なめ		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」  チェック数 0  評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」			設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を漏れなく取りまとめている。 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。
			有無		#=1⇒10.4]、#=2⇒10.6] #=3⇒「0.8]、#=4⇒「1.0] チェック数			誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 必要書類等も整備されていた。

3

注)考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(2)	調査	業務、計	画業剤	务 ①〔補助監 <sup>*</sup>	督職貞	〕		委託名	名称:	( 1/4 )
iiù	評 依	西 項	目	評価の視点	配点	得     点       優     標準       1.0     0.8     0.6	率     3     0.4     0.2	得点		評 価 細 目
				業務着手段階 における業務 特性等の考慮		評価細目チェック数 "=1⇒「0.8」、"				当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該作業(業務)の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。注)
						チェック数				
				業務遂行段階における提案		評価細目チェック数 〃=1⇒「0.8」、〃				業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
						チェック数	[			
		提案。	<b>三</b> 力	業務遂行上の課題の提案		評価細目チェック数 〃=1⇒「0.8」、〃				当該業務で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
					<u> </u>	チェック数			<u> </u>	
				業務内容等 改善の提案		評価細目チェック数 "=1⇒「0.8」、"				業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
						チェック数	[			
				小 計			1			
プロセ	専門			目的と内容の 理解		評価細目チェック数 "=1⇒「0.4」、" "=3⇒「0.8」、"	=2⇒[0.6]			業務(調査)計画書に必要事項が記載されていた。 当該業務の目的、内容が理解されていた。 業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
ス	技				<u> </u>	チェック数	<u> </u>		<u> </u>	
評価	力			必要情報 の 把 握		評価細目チェック数 "=1⇒「0.4」、" "=3⇒「0.8」、"	=2⇒[0.6]			業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
					├─	チェック数	<u>i</u> _			検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。
		業務事	執行	検 討 項 目 検 討 手 法		評価細目チェック数 "=1⇒「0.4」、" "=3⇒「0.8」、"	=2⇒[0.6]			検討項目は、特託仕様書等の設計図書の項目を満定していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
		技術:	<b>执</b> 力		<u> </u>	チェック数			<del>                                     </del>	
				打ち合わせ資料の内容		評価細目チェック数 〃=1⇒「0.4」、〃 〃=3⇒「0.8」、〃	=2⇒[0.6]			打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や 提案等が適切に盛り込まれていた。 適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等 を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれ ていた。
					_	チェック数	ļ		† _	
						評価細目チェック数 "=1⇒「0.4」、"	=2⇒[0.6]			業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術 力を有していた。
				十分なり 技術力		″=3⇒「0.8」、″  チェック数	=4⇒「1.0」			業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)

1

(2)調査業務、計画業務 ①〔補助監督職員用〕

委託名称:	(2/4)

					得	点	率						
Ē	平位	西 項 目	評価の視点	配点	優 1.0 0.8	標準 0.6	0.4	劣 0.2	得点	評	価	細	目
			実 施 手 順工 程 計 画		評価細目チェ "=1⇒「0.4 "=3⇒「0.8 チェック数	] , "	=2⇒[	0.6」		表が提出され、速 業務実施方針及び されていた。 業務実施方針又は 目標等が具体的に	やかに業務の バエ程表には、 は詳細な工程 に示されていた	着手がなされた設計図書に示さ 設計図書に示さ 表には、業務実	後14日以内)に業務工程 :。 された事項が適切に反映 施上のポイントとなる工程 に計画されていた。
			実 施 体 制		評価細目チェ "=1⇒「0.4 "=3⇒「0.8 "=3→「0.8	.] 、"	=2⇒[	「0.6 I		業務計画書に示さ 行された。 配置された担当技 が配置され、適正	れた業務組織 「術者若しくは! に履行された。 組織計画)に	裁計画に基づく身 照査技術者は、。 示された実施体	条計画書が提出された。 産施体制により、業務が履 業務内容に応じた技術者 制は、本作業(業務)の履
プロセス	管理技術	工程管理 能 力	打 合 せ 内 容 の 理解、記録		評価細目チェ "=1⇒「0.4 "=3⇒「0.8 "=3⇒「0.8	] , "	=2⇒[	0.6」		め方や懸案事項等 受注者内(再委託 が、その後の資料 打合せ時に生じた	記載内容が打た 等が的確に整理 先等を含むい 等に適切に反 で明点等のが せ後に不明点	合せ結果を適切 理されていた。 で意思疎通がな に映されていた。 品議・確認が適じ	こ。 に反映し、打合せ後の進され、指示や打合せ事項 引になされ、打合せ内容が 合わせ等を発注者に行
価	<sup>**</sup>		工程管理		評価細目チェ "=1⇒「0.4 "=3⇒「0.8 	] , "	=2⇒[	0.6」		されない等はなか 設計図書に基づく ていた。 関連する他の業務	った。 作業状況の報 係や工事等に影	8告、履行報告等 影響を及ぼすこと	れや、履行期限内に納品 を適切な時期に提出し なく完了できた。 なる通して工程計画どおり
			小 計					1					
		品質管理 能 力	ミス防止の実施		評価細目チェ "=1⇒「0.8 "=±===================================	] , "				れた内容とその活 認できた。 品質管理のための	動を適切に実 )システムが構 への反映につ	施した等、品質 なれている部 いて確認できた	るための計画」に記述さ の管理がされたことを確 3署で業務が行われ、か 。(ex. ISO9001等の認証
			小 計		7 - 7 / 9	^	<u> </u>	1					
			Ì										

(2)調査業務、計画業務 ①[補助監督職員用] 委託名称: (3/4)

部	F fi	西項目	評価の視点	配点	優	標準		劣	得点	評	価	細	目	
	管理技術	迅速力能力	当初 計画の 計画更 事調 を 事調	au m	1.0 評価細 "=1: チェ	0.8 0.6 目チェックシ ⇒「0.8」、/ 	数=0⇒「0 v=2⇒「1. 数=0⇒「0	0.2 0.6 0.0 0.6	19.2%	業務遂行中に 調査職員の指 その結果、生じ 発注者からの語 間の調整に係	生じた、当初工程示等に迅速に対けたた検討内容が特に発力の内容が特に見	計画や業務内容なした。 に優れていた。 注番との協議結 作成された。	その変更要請、さ 果に基づき、関	
	力				チェ	.ック数 	<u> </u>			との合意形成(	指示、あるいは発 円滑な業務履行	の確保に資する	果に基づき、地地元等への配成	元住民等 憲等を含
			地元住民との合意形成			目チェック§ ⇒「0.8」、/					案資料が作成さ   料の内容が特に		にていた。	
			=1		チェ	ック数		0						
プ			小 計					1		口性•惶斫•糸	加者·目次·頁等	が田記された答	料とかっていた	
ロセス評価			理解しやすい 説 明 プレゼン テーション (資料)		" = 1: " = 3:	目チェック? ⇒「0.4」、/ ⇒「0.8」、/	<sub>1</sub> =2⇒Γ0.	6]		図表等を用いる資料の内容が	ることにより、理解 簡潔明瞭であり、 作成されており、	翼しやすい資料と 理解しやすい資	なっていた。 料となっていた	0
	П ′′′ т і	説明力	理解しやすい 説 ザッ ガーション (対応)		" = 1: " = 3:	目チェック! ⇒「0.4」、/ ⇒「0.8」、/ 	<sub>1</sub> =2⇒Γ0.	6]		質問に対し的研 限が提示された 一般論と当該	に、打合せの趣覧 確な回答がなされ こ。 業務固有の議論がない、的確かつ論	た、または即答が明確に区別され	できない場合に れていた。	
	ケーションカ	協 プレションカ	説 明 を補う努力		" = 1: " = 3:	目チェック ⇒「0.4」、/ ⇒「0.8」、/	v =2⇒Г0.	6]		説明が不十分相手の理解度	目手の理解度を批の場合、他のメンに応じ、説明のホるための的確な資	バーにより補足	説明がなされた	:0
	. ,,,		円滑な遂行への努力		// =1:	目チェックϡ ⇒「0.8」、/					捗状況等が発注 果題や問題点が多		-	された。
			小 計		チェ	·ック数 		1						
								_						

勢

結

果

評

価

成 果

品

の

品

質

(2)	調査	業務、	計画	画業務	第 ①	)[補	助監	督職員	用〕					委託名	名称:				( 4	1/4)
										得	点	率								
言	F fi	<b>E</b> 1	頁	目	評個	<b>画の</b> :	視点	配点	優		標準		劣	得点		評	価	細	目	
									1.0	0.8	0.6	0.4	0.2							
																主任技術者、照査 た。	₹技術者、担当	技術者として、責任	- 壬逃れの言動は無	無かっ
プ	取									細目チ						打合せにおいて研	催認・解決すべ:	き事項について見	逃しがなかった。	
ノロセ	組	責	任 極	感 性	責積	任 極	感 性			=1⇒Г0. =3⇒Г0.			_			業務遂行に誤りか されていた。	「無いよう、必要	要に応じ協議事項	・決定事項等が再	確認
ス評	姿	積 倫	理	観												業務遂行段階には 速になされた。	おいて不明な点	(が生じた場合、問	い合わせや確認	が迅

1

1

とめている。

みやすい。

スも認められなかった。

必要書類も整備されていた。

設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。

理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。

点が理解しやすく取りまとめられている。

誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。

し必要な業務成果が得られた。注)

業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。

高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対

設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなく取りま

簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読

設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な

成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミ

チェック数

チェック数

チェック数

チェック数

評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」

評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」

評価細目チェック数=0⇒「0.2」

 $u = 1 \Rightarrow \lceil 0.4 \rfloor$ ,  $u = 2 \Rightarrow \lceil 0.6 \rfloor$  $u = 3 \Rightarrow \lceil 0.8 \rfloor$ ,  $u = 4 \Rightarrow \lceil 1.0 \rfloor$ 

小 計

目 的 の 達 成 度

的 確 な

取りまとめ

ミスの有無

注)考査基準の巻末「参	考:採点上の補足」を参照のこと。
-------------	------------------

(1/1)(2)調査業務、計画業務 ②[監督職員(総括)] 委託名称: 率 評 価 項 目 優 標準 評 価 細 目 評価の視点 配点 得点 8.0 0.6 1.0 0.4 0.2 □ 当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 右記評価細目の該当項目を を総合的に判断して、「0.2」 当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 「0.4」、「0.6」(基準点) 「0.8」、「1.0」を付与する。 業務執行 業務執行 技 術 力 技 □ 当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 技術力 術 □ 当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 □ その他(理由: 得点率を入力 2 小 計 セ ス □ 企業として積極的に技術の研鑚に取り組んでいる。 評 当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるもので □ あった。 価 右記評価細目の該当項目を を総合的に判断して、「0.2」 責任感 □ 地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 「0.4」、「0.6」(基準点) 責 任 感 組 「0.8」、「1.0」を付与する。 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等 積 極 性 倫 理 観 姿 により、業務を完成させた。 倫 理 観 勢 □ その他(理由: 得点率を入力 2 小 計 業務遂行上、指摘又は指導等を行なったが、改善されなかった。 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡 等、対応が適切に行なわれなかった。 評価細目チェック数1つ毎に 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 3点減点 務 業務執行上の過失 業務実施体制に問題があった。 執 行 一 その他(理由: 12 係 チェック数 る ■ 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任よるものと発注者が判断した。 過 失 □ その他(理由: に 評価細目チェック数1つ毎に 伴 3点減点(チェックは1つまで) 守秘性に係る過失 う 減 点 チェック数

小計

(2)訓	查業	<b>美務、計画業</b> 務	3〔検査期	敞員〕					委	託名称	: (1/1)
評	価	項目	評価の視点	配点	優 1.0	得 0.8	点 標準 0.6	절 0.4	劣 0.2	得点	評価細目
	声		検討項目検討手法		" = " =	細目チ: :1⇒「0.: :3⇒「0.: エック∛	4」、" 8」、"	=2⇒	آ [6.07		<ul> <li>□ 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。</li> <li>□ 採用された検討手法の技術内容は、業務の目的に適合していた。</li> <li>□ 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。</li> <li>□ 提案された業務手法は、従来技術の応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いるのであった。注)</li> </ul>
プロセス評	専門技術力	業務執行 技術力	十 分 な技 術 カ		" = " =	細目チ: 1⇒「0.: 3⇒「0.: エック∛	4」、// 8」、//	=2⇒	_ [6.07		<ul> <li>業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。</li> <li>特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。</li> <li>業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。</li> <li>新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)</li> </ul>
価			小計					<u>:</u>	3		
	コミュニケーション	説 明 カ 協 調 性 フ <sup>°</sup> レセン テーション カ	説 明 カ 協 調 性 フ <sup>°</sup> レセンカ テーションカ		" = " =	細目チ: 1⇒「0. 3⇒「0. エック∛	4」、// 8」、//	=2⇒	آ [6.07		□ 質問に対し的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 □ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 □ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明ポイント・速さ等が工夫されていた。 □ 説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
	カカ		小計					•	3		
			目 的 の達 成 度		" = " =	細目チ: 1⇒「0.: 3⇒「0.: エック∛	4」、" 8」、"	=2⇒	_ [0.6	-	□ 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 □ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 □ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)
結果評価	結果評価	成果品の品質	的 確 な取りまとめ		" = " =	細目チ: 1⇒「0.4 3⇒「0.6  エック∛	4] 、// 8] 、//	=2⇒	_0.6	-	<ul> <li>□ 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなく取りまとめている。</li> <li>□ 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。</li> <li>□ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。</li> <li>□ 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。</li> <li>□ チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。</li> </ul>

□ 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。

□ 誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。

□ 必要書類等も整備されていた。

評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」

3

チェック数

ミ ス の 有 無

注)考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(3)設計業務 ①[補助監督職員用]

委託名称:	(1/5)
~ = =	( 1/ 0 /

#3	平位	西項	目	  評価の視点	配点	優	得	点 標準	率	<u> </u>	   得点		評	価	細	目
P P	т 11	山 块	П	計画の沈点	山山爪	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2	可示		пΤ	Щ	ηщ	П
									•	•			当該業務の仕	☆様や発注者から	の指示等を満た	こす提案がなされた。
						=亚/莱乡	四日五	エック数	#r — ∩ →	<b>Σ</b> Γ0 6 ι						∖は高度な調査・解析・設
				業務着手段階における業務				エック <sub>奏</sub> .8」、"					計等の手法・	技術に関する提案	<b>繋がなされた。</b> ⅓	Ē)
				特性等の考慮												
								*L	 !							
						7	エック	釵	<u> </u>				₩ 76 \¥ /= rn.mi	r-+r+ +-+= + 1.	<b>、。担由184-2</b>	. 1- 4
														皆で新たな視点か i的な想点から捨		
				業務遂行段階				エック数 .8」、"					関連9 の多面 基づく提案が7		引された、めるい	いは高度な技術レベルに
				における提案		" -	1→10.	″ , [٥.	-2→	1.0]						
						チ	エック	数								
		提業改善	§ 力										当該業務で不	足する課題が抽	出された。	
				】 業務遂行上		   評価約	細目チ	エック数	数=0⇒	ر 0.6ع			検討課題と共	に今後実施すべ	き検討事項・方	針等が提案された。
				必要となる				.8] , "								
				課題の提案												
						 チ	エック	数	<u> </u>							
													業務の作業効		 是案が、自主的	
						=\ \pi  \pi 4	<b>□</b> □ -	エック数	iπ — ∩ – ·	Loe:				精度を向上させる		
				業務内容等				エツク策 .8」、"					*1307F16-1	m及と内工C とる	ルスル、ロエロ	312/42/10/20
				改善の提案												
							エック	坳	 !							
				., =1		<del>                                     </del>	エフノ	<del>3</del> X	<u>!</u>	<u> </u>						
				小 計						1						
													業務計画書に	必要事項が記載	されていた。	
プ	_							エック数					当該業務の目	的、内容が理解	されていた。	
	専			目的と内容の 理解				.4] 、// .8] 、//					業務計画書の	実施方法等に、	業務内容を具体	化する記述があった。
セ	門			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,										手に示された当該	業務と関連する	他の業務、事業が理解
ス	技						エック	米石					されていた。			
評	術					<del>                                     </del>	<b></b>	<del>3</del> 33	<u>i                                     </u>				<b>*</b> 数 差 千 吐 占	において、適切し	- 恣妙学が乾度	
	カ					 				_						
価				│ │ 必 要 情 報				ェック数 .4」、"						ト段階で、入手し <i>†</i>		古用されていた。 集の努力がなされてい
				の把握		"=	3⇒Г0.	.8] 、"	=4⇒	「1.0」			未務逐行段階 た。	すじ、新たに必安で	こうれたに有報収	乗の労力がなされてい
													業務遂行段階	皆で、当該業務に	有意な情報が自	目主的に提供された。
						チ	エック	数								
													検討項目は、	 特記仕様書等の		目を満足していた。
							細日千	エック数	∜r=∩⇒	>[U2+			採用された検	討手法の技術的	内容は、業務の	D目的に適合していた。
				検討項目		<i>"</i> =	1⇒「0.	.4] 、//	=2⇒	[0.6]					項目が不足無く	設定され、検討項目間の
				検討手法		" =;	.0 ا ∕⊸د	.8] 、"	<b>-</b> 4⇒	1.0]			整合も図られて	-	も術を応用・幼々	合化あるいは先進技術を
		業 務 技 徘												粉子法は、促木f 、難易度の高いも		
		,^ I''	. ,,			チ	エック	数								
													打ち合わせ資	料に大きなミスカ	- 「なかった。	
						== :			tL -	. Fa -				:料に、業務を進め	かるにあたっての	D課題等が適切に盛り込
				打ち合わせ		<i>"</i> =	1⇒Г0.	ェック数 .4」、"	=2⇒	[0.6]			まれていた。 打ち合わせ資	料に 業務を准約	りるにあたってん	の課題解決策や提案等
				資料の内容		// =:	3⇒Г0.	.8] 、//	=4⇒	「1.0」				込まれていた。	- WI-03/2 2 C	,如此四川八水(北本寸
														準類のない業務 催な理論展開によ		度の高い業務等を進める 入まれ <i>ていた</i>
							ェック	坐ケ	 				1~30/~2、日3川	mの土皿 灰케1〜6	・ いいいりょん ・血 ソン	2040 € 0 7 € 0
						<del>                                     </del>	<b>-</b> //	**	!			$\vdash$	業務に必要な	:技術基準、マニ=	エアル、共通仕村	*まが十分に理解されて
													いた。			
								エック数 .4」、"							業務固有の条件	#に対応可能な十分な技
				十 分 な 技 術 カ				.8] 、"					術力を有してい	いた。		
				ול ניון אנ												者から新たに指示された
								261						十分満足できる魚 いは高度な調査・		いた。 手法・技術に十分対応で
						<del>ا</del>	エック	<b></b>	<u> </u>				きる能力を有し		WHI TO	
				小 計						1						

(3)設計業務 ①[補助監督職員用] 委託名称: (2/5)

部	P fi	西項 目	評価の視点	配点	得     点       優     標準       1.0     0.8     0.6	多 3.4 0.2	得点		評	価	細	目
		施工時への配慮	施工に関する一般的な知識		評価細目チェック? "=1⇒「0.4」、, "=3⇒「0.8」、,	v =2⇒「0.6」		一施一施一	していた。 江方法の検討! 江方法の内容』	こおいて、一般 及び長所・短所	的に留意すべる	関する一般的な知識を き点を理解していた。 内な知識を有していた。 を理解していた。
		[設計時評価] (設計業務を対象に評定する。) 概略設計 予備設計	施工条件の把握		チェック数 評価細目チェック3 "=1⇒「0.4」、「 "=3⇒「0.8」、「	v =2⇒「0.6」		当担	該地域の環境ない	特性を把握して 系わる要求事項	いた。 頁を把握してい <i>†</i>	を把握していた。 こ。 る関係機関等の情報を
			小計		チェック数	1						
プロセ	専門		施工に関する一般的な知識		評価細目チェック? "=1⇒「0.4」、' "=3⇒「0.8」、'	v =2⇒[0.6]		一有加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加	していた。 江方法の検討! 江方法の内容』	こおいて、一般 及び長所・短所	的に留意すべる	関する一般的な知識を き点を理解していた。 りな知識を有していた。 を理解していた。
ス評価	技術力	施工時への配慮[設計時評価](設計業務を対象に評定する。)	施 エ 条 件 の 把 握		評価細目チェック? "=1⇒「0.4」、, "=3⇒「0.8」、,  ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	v =2⇒「0.6」		当日担	該地域の環境物	特性を把握して 系わる要求事項	いた。 頁を把握してい <i>†</i>	を把握していた。 こ。 る関係機関等の情報を
		詳細設計	施 工 計 画 (施工方法、 仮設備計画)		評価細目チェック3 "=1⇒「0.4」、「 "=3⇒「0.8」、「 チェック数	v =2⇒「0.6」		施工画当	事が周辺環境( が提案された。	こ踏まえた施工 こおよぼす影響 おける施工上 <i>の</i>	方法、仮設備言 学を考慮した上で )留意事項が、』	十画が提案された。 で、施工方法、仮設備計 重要度別かつ施工段階
			小 計			1						
		コ ス トカ 接 業 策 対 象 に 評 定 す る )	コスト把握能力		評価細目チェック? "=1⇒「0.4」、' "=3⇒「0.8」、'	v =2⇒「0.6」		_ 現 □ コン □ ラ゙	スト縮減に係わ	国有条件がコス る提案があった ストや新技術・第	トにおよぼす影 こ。 新工法等の総合	響を理解していた。
			小 計			1						

(3)設計業務 ①[補助監督職員用]

<b>季轩夕</b> 称:	(0/5)
I 安託名孙:┃	(3/5)

					得	点	率			
Ē	平位	西項 目	評価の視点	配点	優 1.0 0.8	標準 0.6		劣 0.2	得点	評 価 細 目
			実施 手順工程計画		評価細目: "=1⇒[( "=3⇒[( チェック	0.4」、 <i>"</i> 0.8」、 <i>"</i>	, =2⇒[	0.6」		契約書等に記載された期限以内(ex.契約締結後14日以内)に業務工程表が提出され、速やかに業務着手がなされた。 業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 「作業(調査、検討、設計)項目間の実施手順等が適切に計画されていた
			実 施 体 制		評価細目ョ "=1⇒「( "=3⇒「( チェック	0.4」、 <i>"</i> 0.8」、 <i>"</i>	ı =2⇒Γ	0.6」		契約図書に基づき、主任技術者通知書及び業務計画書が提出された。 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、作業(業務)が履行された。 配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 業務計画書(業務組織計画)に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。
		工程管理 能 力	打 合 せ 内 容 の 理解、記録		評価細目ラ ''=1⇒「( ''=3⇒「( チェック	0.4] 、" 0.8] 、"	, =2⇒[	0.6」		□ 打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 □ 打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 □ 受注者内(再委託先等を含む)で意思疎通がなされ、指示や打合せ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 □ 打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された(打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行なうことはなかった)。
プロセス評価	管理技術力		工程管理		評価細目5 "=1⇒[0 "=3⇒[0 	0.4」、 <i>"</i> 0.8」、 <i>"</i>	ı =2⇒Γ	0.6」		□ 指示や注意を行なう必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 □ 設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 □ 関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 □ 履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
			小計		, -, -,		<u>!</u>	1		
		品質管理能力 概略設計 予備設計	ミス防止の実施		評価細目ラ	0.8] 、//				「業務計画書」における「成果品の品質を確保するための計画」に記述された内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを確認できた。  品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。(ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
			小計		チェック	/奴	<u> </u>	(1)		
		品質管理能力詳細設計	ミス 防 止の 実 施		評価細目ラ "=1⇒「( "=3⇒「( チェック	0.4」、" 0.8」、"	, =2⇒[	「0.2」 「0.6」		<ul> <li>業務計画書等に、照査体制、照査計画等が記載されていた。</li> <li>業務計画書等に照査担当者が配置されていた。</li> <li>照査報告書等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。</li> <li>品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。(ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)</li> </ul>
			小計				_	1		

(3)設計業務 ①[補助監督職員用]

委託名称: (4	1/5)

					得	点	率							
Ē	平 信	西項 目	評価の視点	配点	優 1.0 0.8	標準 0.6		得点		評		価	細	目
											中に生じた。			容の変更要請、あるい
			当初計画の変更				牧=0⇒「0.6」 <sup>-</sup> =2⇒「1.0」						別で優れていた	o
					チェック	 7数								
													注者との協議 が作成された。	結果に基づき、関連事業
	管理技	迅速性 弾力性	関連事業者間の調整				牧=0⇒「0.6」 -=2⇒「1.0」						良くとりまとめら	
	術	調整能力			チェック	 7数	 [	1						
	カ				7 = 77	***	<u> </u>			発注者から	らの指示、	あるいは発	注者との協議	結果に基づき、地元住民
										等との合意		骨な業務履	行の確保に資	する地元等への配慮等
							枚=0⇒「0.6」						良くとりまとめら	っれていた。
			地元住民との合意形成		"=1⇒10	).8] 、//	=2⇒「1.0」							
					チェック	 7数	 [	-						
			小 計				1							
プ										日時·場所	f·参加者•	目次•頁等	が明記された	 資料となっていた。
			理解しやすい 説 明 プレゼン テーション (資料)		   評価細目チェック				$\prod_{i=1}^{n}$	図表等を用	用いることに	こより、理角	Zしやすい資料	となっていた。
セ					" =1⇒[0 " =3⇒[0	).4」、 <i>"</i> ).8」、 <i>"</i>	" =2⇒[0.6] " =4⇒[1.0]		$\prod_{i=1}^{n}$	資料の内容	容が簡潔明	閉瞭であり、	理解しやすい	資料となっていた。
ス 										資料の要	約が作成さ	れており、	容易に内容を	捉えることができた。
評					チェック	 7数	 [	1						
価					1 11		<b>¦</b> 7数=0⇒「0.2」			打合せ開	始時に、打	合せの趣旨	 ョ・目的が説明	  された。
			理解しやすい 説 明 プレゼン テーション (対応)		証価細日チ	fェック※				質問に対し	し的確な回			答できない場合には回答
	1						」、″=2⇒「0.6」			期限が提		<b>ナ</b> の詳論	<b>↓</b> \$00 <i>T#</i> 1 = <del>[27</del> 01] -	++ · +
							—4→11.0 <u>]</u>						が明確に区別で	されていた。 こより、内容が容易に理解
	_							_		できた。	2070 O.C ( E	- 5 R III	111- TH 2 O-1120-231-	10. 7(17 <u>1</u> 7 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	ケ	説明力			チェック	<b>'</b> 数 ———	<u> </u>							
		協調性プレゼン.								説明の際に	に、相手の	理解度を批	巴握するよ <b>う</b> 努	力されていた。
	シ	テーションカ	説 明 を				数=0⇒「0.2」 =2⇒「0.6」			説明が不	十分の場合	6、他のメン	バーにより補	足説明がなされた。
	´		補う努力				=4⇒「1.0」			相手の理解	解度に応じ	、説明のオ	ペイント・速さ等	が工夫されていた。
	レ									説明を補足	足するための	の的確な資	資料が、周到に	用意されていた。
	)     カ				チェック	/数								
	~						-			密に業務の	の進捗状況	豊等が発注	者に報告される	ていた。
			T 10 15 14 75 14		評価細目チ	チェック巻	枚=0⇒「0.6」			業務遂行.	上、課題や	問題点が多	発生した場合に	二迅速に報告がなされた。
			円滑な業務遂行				=2⇒[1.0]							
			への努力											
					チェック	 ⁄数		1						
			小 計				1							
				<u> </u>	<u></u>				<u> </u>					

(3)設計業務 (①L補助監督職員用) 											委託名称:					( 5	5/5)		
iii	P di	Б <u>ј</u>	Į	目	評個	<b>動の</b> :	視点	配点	<u>優</u>	9.8	点 標準 0.6	率劣0.40.2	得点		評	価	細	目	
プロセス評価	取組姿勢	責積倫	任極理	感性観	責積	任極	感性		" = " =	1⇒Γ0.4	4] 、	z=0⇒[0.2] =2⇒[0.6] =4⇒[1.0]			かった。 打合せにおいて 業務遂行に誤り 認されていた。	て確認・解決すべ りが無いよう、必§ において不明な』	き事項について 要に応じ協議事3	賃任逃れの言動は 見逃しがなかった 項・決定事項等が 問い合わせや確	こ。 『再確
						小青	t					1							
					目達	的成	の度		"=	1⇒「0.4	4] , "	z=0⇒Γ0.2」 =2⇒Γ0.6」 =4⇒Γ1.0」			業務遂行段階で業務成果は、業高度な技術レク	示された項目が、 での指示事項が、 美務目的に照らし 、ル、多岐にわた 務成果が得られた	漏れなく実施さ 満足できる内容 る検討項目など	れた。	
									チ	エック	数								
結果 評価	成 の			品質	的取り	確りまっ	なめ		// = // =	1⇒Γ0.4	4」、" 8」、"	(=0⇒Γ0.2] =2⇒Γ0.6] =4⇒Γ1.0]			まとめている。 理解しづらい文 簡潔で理解した 読みやすい。 設計図書にある	に章表現等は、ほ らすい表現になっ	とんど認められっており、記載方え でおり、記載方え	≦示事項を漏れなない。 よに創意工夫が∂ 事項を関連づけ、	みられ

評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」

1

チェック数

**チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。** 

誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。

□ 必要書類も整備されていた。

成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等の ミスも認められなかった。

ミスの有無

注)考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(3)設計業務 ②[監督職員(総括)]								委託名称	<b>ት</b> :		( 1/1 )	
評	価	項目	評価の視点	配点	優標	点 [準 ).6 0	率 劣 0.4 0.2	· 得点 ·		評価細目		
プロセ	専門技術力	業務執行 技術 力	業務執行技術力		右記評価細目 を総合的に半 「0.4」、「0.6 「0.8」、「1.0」 <b>得点率を入力</b>	判断して 6」(基 <sup>達</sup> 」を付与	「、「0.2」 隼点)			当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった その他(理由:		
セス評価	取組姿勢	責任 感積 極性 観	責 任 感性倫 理 観		右記評価細目の該当項目を を総合的に判断して、「0.2」 「0.4」、「0.6」(基準点) 「0.8」、「1.0」を付与する。 得点率を入力				<ul> <li>企業として積極的に技術の研鑚に取り組んでいる。</li> <li>当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。</li> <li>地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。</li> <li>業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。</li> <li>その他(理由:</li> </ul>			
業務執行に係る		業務執行」	小計		評価細目チェ 3点 チェック数	:ツク数 1 減減点 	② 1つ毎に			業務遂行上、指摘又は指導等を行なったが、改善されなかった。 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情等、対応が適切に行なわれなかった。 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 業務実施体制に問題があった。 その他(理由:	青報連絡 )	
ぶる過失に伴う減点	評価細目チェック数1つ毎に 3点減点(チェックは1つまで)									業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任よるものと発注者が判断した。 その他 ( 理由 :	)	

小計

(3)設計業務	③[検査職員]	委託名称:	(1/1)
( - / джи ги уу			, ,, ,

評	価	項目	評価の視点	配点	得点率     優標準   劣	得点	評価細目
					1.0 0.8 0.6 0.4 0.2		検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。
	専門技術力		検討項目検討手法		評価細目チェック数 = 0 ⇒ 「0.2」 "=1 ⇒ 「0.4」、"=2 ⇒ 「0.6」 "=3 ⇒ 「0.8」、"=4 ⇒ 「1.0」  チェック数		□ 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 □ 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
プロセス評		業務執行技術力	十 分 な 力		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」		<ul> <li>業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。</li> <li>特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。</li> <li>業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。</li> <li>新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)</li> </ul>
価			小計		3		
	コミュニケーション力	説 明 カ 関 ッッコンカ テーションカ	説 明 カ 協 調 性 フ <sup>°</sup> レセンカ テーションカ		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」		□ 質問に対し的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 □ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 □ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明ポイント・速さ等が工夫されていた。 □ 説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小計		3		
			目 的 の達 成 度		評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」 チェック数		<ul> <li>□ 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。</li> <li>□ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。</li> <li>□ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。</li> <li>□ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)</li> </ul>
結果評価	結果評価	成果品の品質	的 確 な 取りまとめ		! 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」		<ul> <li>設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなく取りまとめている。</li> <li>理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。</li> <li>簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。</li> <li>設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。</li> </ul>
			ミスの 有無		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」		<ul> <li>         □ チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。         □ 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。         □ 誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。         □ 必要書類も整備されていた。     </li> </ul>
			小 計		3		

注)考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

# 【 参考:採点上の補足 】

採点表の評価細目で、"高度な技術レベル" "難易度の高い業務"の項目があるが、これに関しては、次表を参考とすること。以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

			軟弱地盤特殊土質詞	忧験  地盤・環境関連企画調査
			動的土質試	動 的 応 答 解 析
				ずム地質解析
				トンネル応力変形解析
				地盤環境調査解析
	<b>1</b>	軟弱地盤安定·沈下概略検討	軟弱地盤対策検	討
		施工時計測管理(高盛土・トンネル等)	トンネル変状調	
		浸透流解析	地すべり機構解	_
		液状化判定	地すべり対策工検討記	
		7X	7/1/X = Killin	× H1
知				
		ボーリング調査	地表地質踏査及び資料	
		土質試験・検層	トンネル渇水影響調査・	
			「レンベル人の小が音調査・)	94-171
識		物理(弾性波等)調査		
		高盛土計器設置及び観測		
		地すべり計器設置及び観測		
		トンネル水文・水質観測調査		
		地盤環境(土壌・地下水等)調査		
	•			
			<b>→</b>	
		構想力・	応用力	

図 地質調査の例

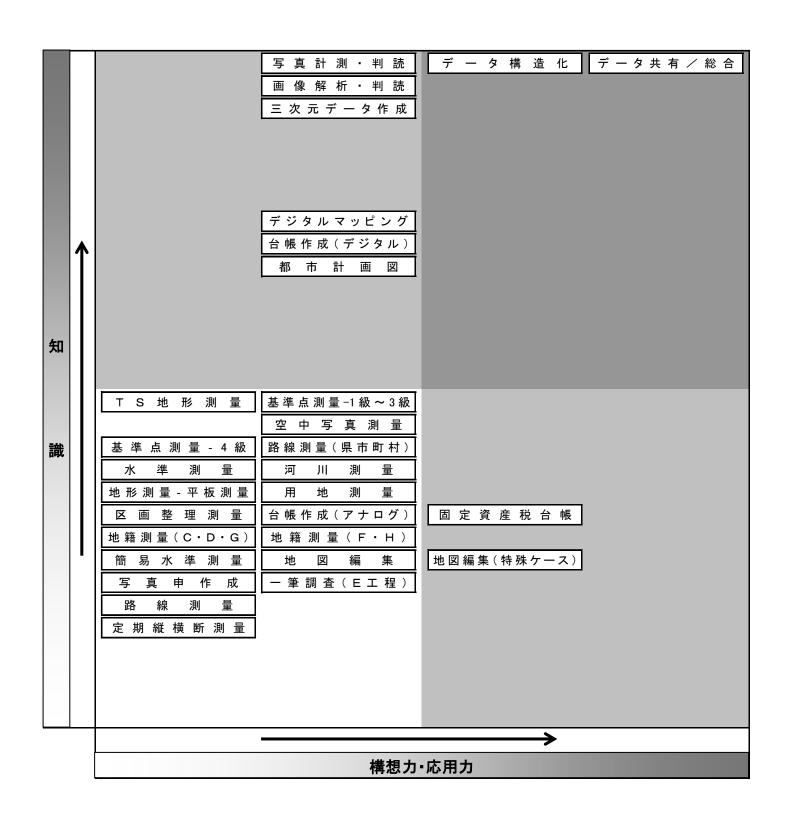


図 測量作業の例

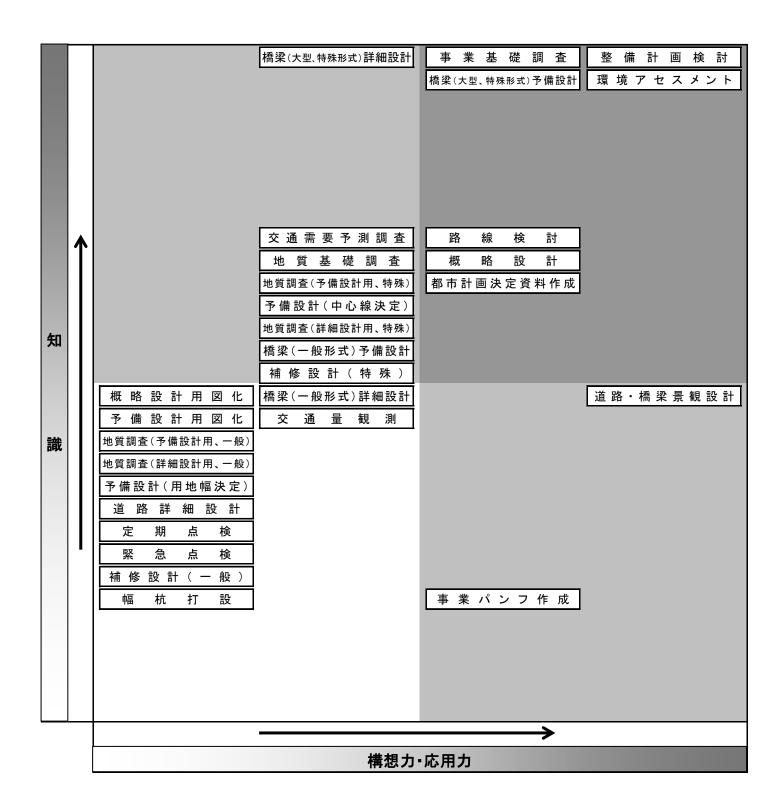
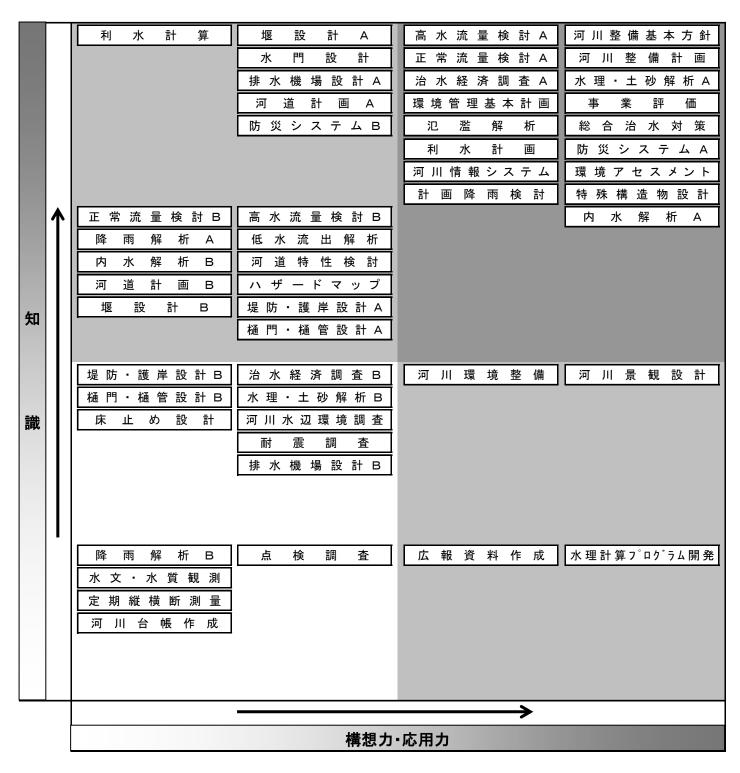


図 道路事業に係わる調査・計画・設計業務の例



注: A·Bは同種の業務における難易度の違いを表し、Aは難易度が大であるもの。

			管渠特殊設計(シールド)	環境保全公共下水道計画	総合的な計画
				合流式下水道改善計画	流域下水道事業計画
				処 理 場 機 能 更 新 計 画	公共下水道事業計画
				処理場基本設計	事業評価調整等
				処理場詳細計画	経営管理計画等
				ポンプ場機能更新計画	雨水流出解析
				ポンプ場基本設計	処理場機能診断
					下水道資源活用計画
	╽				
		貯留池·耐水池詳細設計	管渠設計(シールド)	管 渠 機 能 更 新 計 画	
		吐口・樋門詳細設計	貯留池·耐水池基本設計	ポンプ場詳細計画	
		施工管理(ポンプ場・処理場)	吐口・樋門基本設計	管 渠 基 本 設 計	
		水質分析(健康項目)		水 質 診 断	
		耐 震 診 断		地震等災害対策計画	
知		台帳作成(処理場・ポンプ場)		台帳コンセプト作成	
		管渠設計(小規模推進)	工事費積算(施設)	広 報 資 料 作 成	
		管渠設計(圧力・真空式)	管渠設計(推進工法)		
		マンホールポンプ詳細設計	管渠設計(開削·密集地)		
識		特殊マンホール詳細設計			
耐火		管渠設計(開削工法)			
		管渠設計(開水路)			
		施工管理(管渠)			
		工事費積算(管渠)			
	ı	台帳作成(管渠)			
		水質分析(一般項目)			
		排水設備設計			
		道路埋設管試掘調査			
				<del></del>	
			構想力·	·応用力	